

OnBase-SAP 連携による業務効率化

Work Efficiency Realized by OnBase-SAP Linkage

佐々木克直 *
Katsunao Sasaki

高橋佑輔 **
Yusuke Takahashi

* システムソリューショングループ 第一システム事業部

** システムソリューショングループ 第一システム事業部 産業 ECM ソリューション部

紙で流通する営業証憑（注文書・検収書等）を統合基幹業務システム SAP にデータ入力する業務プロセスを効率化するソリューションを紹介する。営業拠点から証憑をスキャナ入力して電子化し、事務センターで SAP に集中入力を行う。SAP 上ではデータ入力オペレーターの作業を効率化できるよう、電子化した証憑イメージを参照しながらデータ入力ができるようにする。今まで把握しづらかった証憑のデータ入力証跡を管理し、内部統制を強化することができる。

This paper introduces a solution to increase efficiency in the business process of inputting the data from sales vouchers (purchase orders, acceptance certificates, etc.) that are distributed in paper form into SAP integrated core business system software. Vouchers are scanned and digitalized in sales-promotion offices, and the digital data is then conveyed to office centers for centralized input. In order to make the work of data input operators efficient, data input while referencing digitalized voucher images is made possible on SAP. This solution is extremely useful in controlling traces of voucher data input that was previously very difficult to keep track of, and also for strengthening internal controls.

1 まえがき

高度に体系化された基幹システムである SAP を利用しているユーザーにも、その周辺にはまだ従来通りの紙文書での業務運用が散見される。

特に外部企業の押印のある業務証憑（注文書、請求書など）は、紙文書での業務運用率の高さが顕著である。業務証憑は、法律で規定された期間の原紙保存が必須であることも、その理由の一つである。

これら業務証憑の運用現場では、原紙での運用を行っているため、郵送にて事業所間を行き来する。このため、輸送時間、及び輸送コストが多く発生する。また、原紙の紛失リスクや、決められた承認プロセスを踏まずに運用されているなどの潜在的なリスクが存在する。

一方で、原紙での業務運用は、古くからの商習慣の

ため、万人に対して信頼性があり、業務自体が分かり易いというメリットがある。

そこで、外部企業との業務証憑のやり取りは運用を変えることなく現状通り紙で行い、業務プロセスの順守に対応できる紙の電子化ソリューションを紹介する。

一度社内に持ち込んだ原紙をすぐにイメージ化し、データとして事業所間を流通させる。このイメージデータを社員が申請・承認のワークフローを流れさせることにより、遅滞なく業務を行える。

本ソリューションを用いることで、業務証憑の輸送時間や輸送コストを削減し、証憑紛失リスクを低減させる。また、従来まで難しかった事業所現場レベルにまで、業務プロセスの管理ができ、SAP と合わせて一貫した業務プロセス統制が可能となる。

2 開発の背景と狙い

2.1 業務プロセス統制に向けて

紙の電子化ソリューションを実現する OnBase^{注1)} と SAP の連携は、以下の背景から有効である。

- (1) 業務プロセスを明確にする事で、業務統制に対応する必要がある。
- (2) SAP へのデータ入力は、データ精度・粒度の向上・均一化が求められる。

2.2 事業所と事務センターの職務分離

2008 年度の決算期から運用が始まった金融商品取引法 (JSOX 法) に対応するため、企業は様々な業務プロセスに潜む会計上のリスクを明らかにし、日常業務の中で自らが定めたルールに従い、さらにルールを順守している証拠の保管を行う必要がある。

ここで、各種の事務処理、特に前述のように会計上リスクを抱えている業務証拠の運用において、事務処理を組織的に分け、組織間で相互に不正への牽制を行うことが有効である。

また、事務処理を専任組織に集中することによって、事務作業の効率向上が見込める。

3 システム概要

3.1 対象とする業務

本システムの対象は、業務証拠を参照しながら SAP を運用する業務である (図-1 参照)。

SAP へのデータ入力の際、データの根拠となる業務証拠を関連付けて保管する。

これにより SAP からの証拠原紙確認が容易に行えるため、内部監査業務の大幅な効率化が見込める。

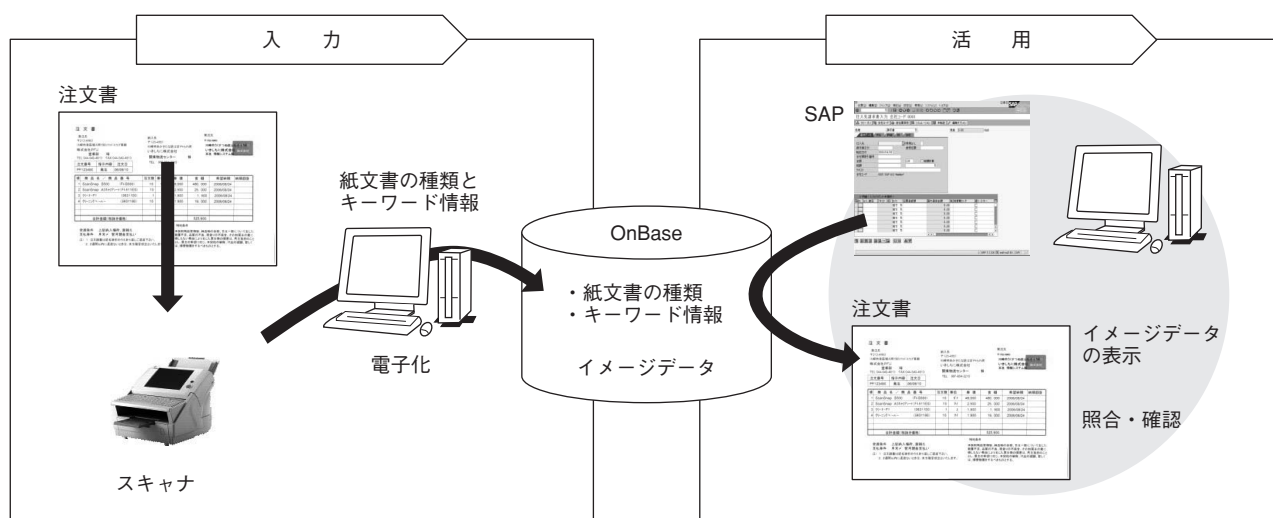
3.2 システム概要

業務処理のビジネスロジックは SAP で行い、これらを補完する各種ドキュメントの管理を OnBase が担当する (図-2 参照)。

3.3 ハードウェア構成

OnBase システムのハードウェア構成は、大きく分けて以下の 3 点である (図-3 参照)。

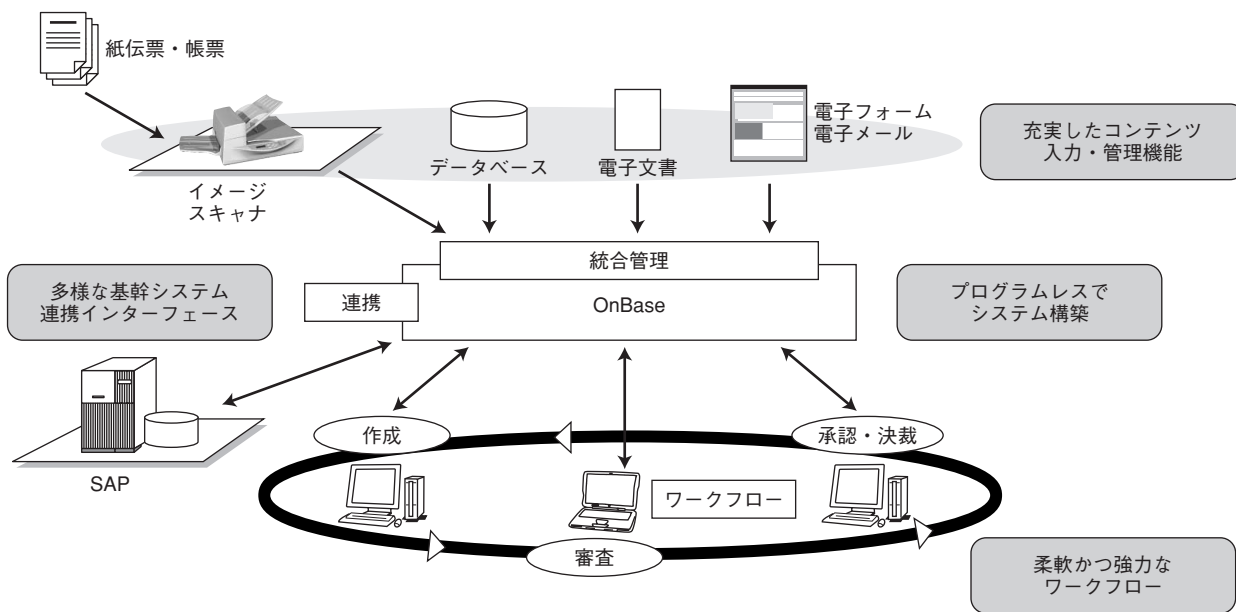
- (1) サーバ
 - 1) OnBase アプリケーションサーバ
 - 2) OnBase ファイルサーバ
 - 3) OnBase データベースサーバ



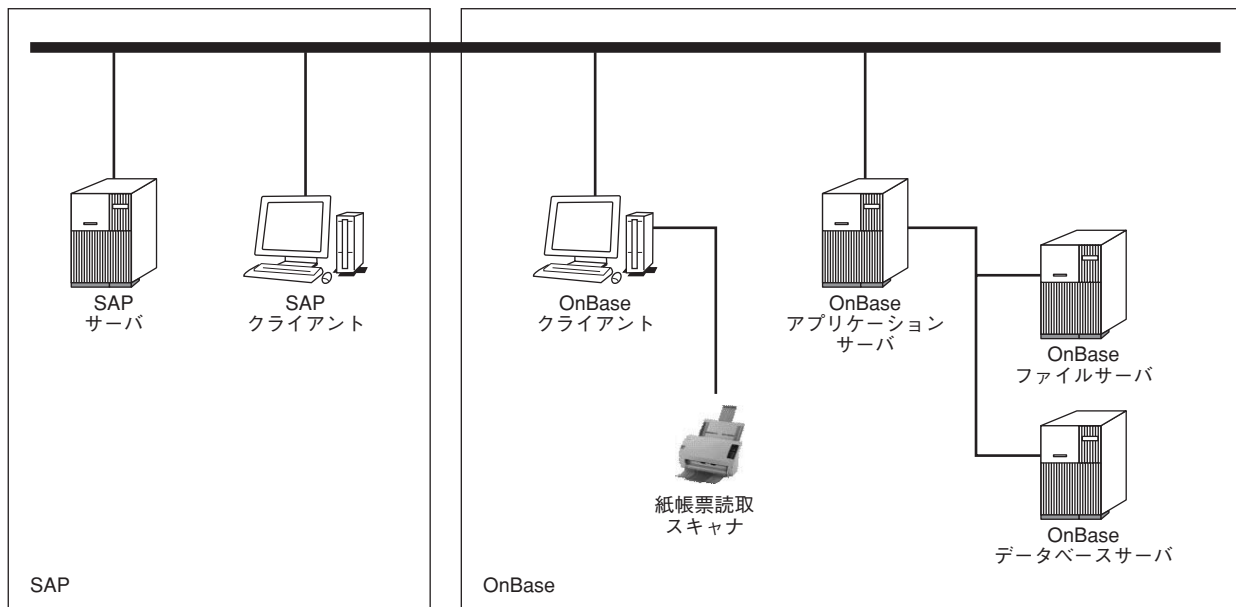
●図-1 業務証拠の電子化と SAP 連携●

(Fig.1-Business voucher digitalization and SAP linkage)

注1) OnBase は、米国ハイランド・ソフトウェア社が開発した、統合コンテンツ・マネージメントシステム (ECM) であり、PFU は「OnBase」を日本におけるマスタリセラーとしてお客様へご提供している。



●図-2 OnBase-SAP 連携システム構成例●
(Fig.2-OnBase-SAP linkage system configuration example)



●図-3 ハードウェア構成●
(Fig.3-Hardware configuration)

- (2) クライアント
 - 1) OnBase クライアント
- (3) スキャナ
 - 1) 紙帳票読取スキャナ

OnBase は業務上で発生するドキュメントのストレージ (保管庫) の役割を果たすため、容量の大きなファイルサーバを構築することができる。

ファイルサーバには、証憑の画像イメージデータが適正なユーザーからのアクセスしか認めないセキュリテ

ィ対策を講じる必要がある。このアクセス制御は、OnBase とファイルサーバの設定により実現される。

また、紙帳票読取スキャナは業務形態に応じて選択する。大量の紙帳票が集まってくる集中事務処理センターでは、いかに早く大量の紙帳票を処理するかが重要になるため、高速読取スキャナ (例：弊社製 fi-5900C 毎分 100 枚 / 200 面読取) を利用する。

また、支店等の少量の紙を多数の人が入力する場面では、クライアント不要で省スペースなネットワークス

キャナ（例：弊社製 iScanner fi-6010N）を利用する。

4 システム機能の特長

4.1 SAP へのデータ入力手段

(1) EarlyStorage

SAP 上での操作が直感的で分かりやすく、簡単に営業証憑と連携できる手段が、EarlyStorage である。

まず、スキャナから OnBase に取り込まれた紙帳票を SAP 画面から参照する。この紙帳票イメージを参照しながら各種 SAP トランザクション（受注データ入力、請求データ入力等）登録を行える。実際の紙帳票イメージを参照しながらの作業となるため、操作するオペレーターのミスが削減できる工夫にもなっている。

一度、SAP にデータが登録されると SAP 上で画面単位にドキュメント ID が割り振られ、これが OnBase に自動的に通知される。

OnBase ではこの SAP のドキュメント ID と、自身が持つドキュメント ID を関連付けて管理するため、SAP の各データが、どの紙帳票イメージとリンクしているのか、後から識別する事が出来る。

(2) LateStorage

既存業務の運用を変えずに、バーコードを利用して証憑を電子化する手段である。

LateStorage では現状業務と同様に、まず紙帳票の実物を参照しながら、各種 SAP トランザクション登録を行う。登録された SAP のドキュメント毎にドキュメント ID が割り振られるため、この ID をバーコード (Code39) にてラベル印刷する。この印刷されたバーコードラベルをその時に参照した紙帳票の実物に貼付する。

次にバーコードラベルが貼付された紙帳票をスキャナで読み取り、OnBase に登録する。この時 OnBase のドキュメント ID とバーコード内に記述された SAP のドキュメント ID が関連付けて管理される。

このようにして、EarlyStorage と同様に SAP の各データが、どの紙帳票イメージとリンクしているのか、後から識別する事が出来る。

4.2 SAP とのデータ共有 (Business Indexing Connector)

さらに本システムでは、SAP トランザクション内の入力データを、自動的に OnBase 内の紙帳票イメージ

にキーワードとして関連付ける機能を有する。

SAP トランザクションが登録されるたびに出力される IDOC (SAP の外部システム連携 I/F ファイル) 経由で、SAP に入力されたデータを OnBase 紙帳票イメージに自動的に連携され、後からの証憑検索時のキーワードとして活用できる。

4.3 SAP から出力される帳票保管 (Print List)

適宜 SAP から出力される帳票を電子データとして同時に保管する。他のドキュメントと紐付けて一元管理されるため、SAP から過去のトランザクションを参照する際、関連した出力帳票も参照できるようになる。

5 活用用途、及び効果

5.1 本ソリューションの活用用途

本ソリューションの活用用途として、営業事務プロセスが例に挙げられる (図-4 参照)。

営業事務業務では、様々な取引先との取引結果である業務証憑 (注文書、請求書、納品書等) を大量に素早く処理する必要がある。

そこで、本店や支店で受け取った取引先からの業務証憑をスキャナで読み取り、集中事務処理センターに業務証憑イメージを送る。集中事務処理センターでは、送られてきた業務証憑イメージを参照しながら、SAP トランザクション登録を実行する。この時、業務証憑イメージと SAP 画面を左右に並べる事によって、オペレーターの視認性を向上し、作業ミスを削減できる。

SAP トランザクション登録まで完了すると、OnBase が自動的に SAP のドキュメント ID と業務証憑イメージのドキュメント ID を関連付けて管理・保管する。

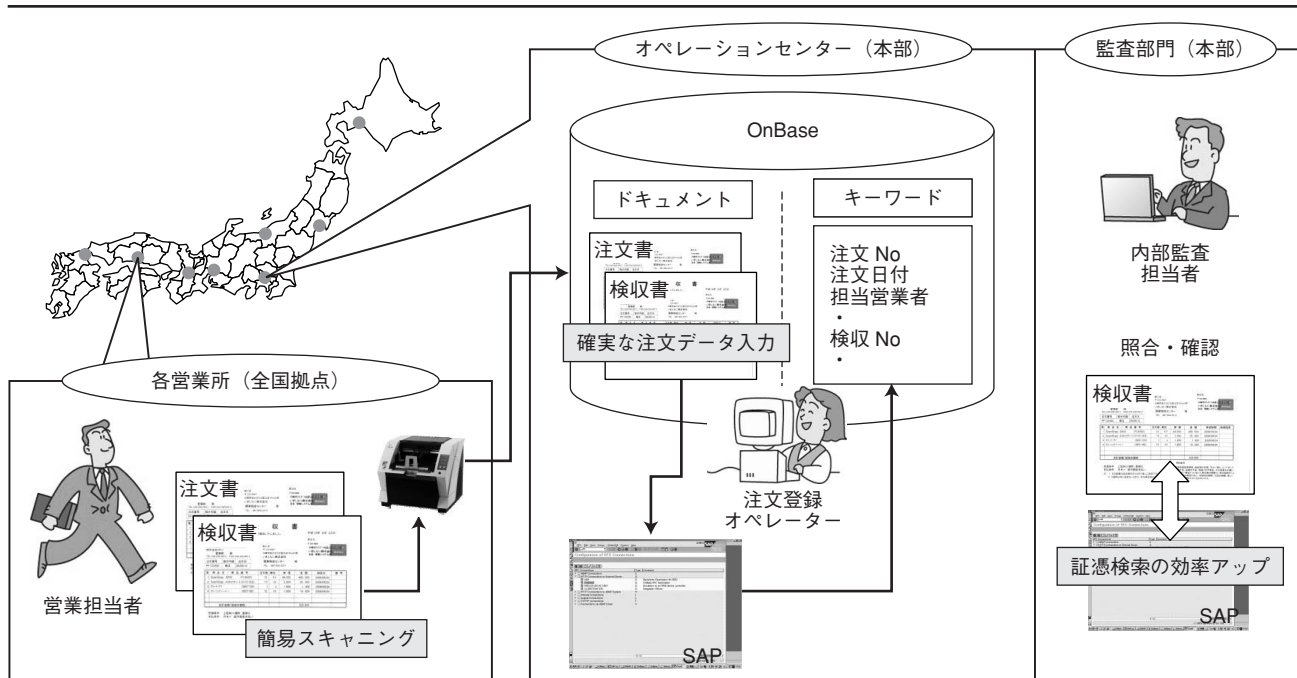
結果、内部監査や会計監査等の際に、SAP に登録されているデータの証憑となる業務証憑イメージの検索が容易に実現でき、全国に散らばっている様々な業務証憑イメージにすぐにアクセスする事ができる。

5.2 本ソリューションの効果

(1) 支店と集中事務処理センターの職務分離で内部統制強化が実現できる。

既存の営業事務業務では、1 事業所の特定社員が営業事務を行っている時、データ入力時のミスや不正があっても発覚しづらい。

これを別組織にてチェックすることで、組織とし



●図-4 本ソリューションの営業事務プロセスへの適用例●
 (Fig.4-Example of application of this solution to a process of sales personnel's paper work)

での牽制機能が働き、事務作業ミスの早期発見や不正行為への抑止となる。

(2) 集中事務処理センターへの業務集約で、入力業務のスピードアップとコストダウンが実現できる。

事務作業を専任オペレーター達で集中処理することにより、業務効率の向上になる。

(3) 営業書類の電子記録で、既存業務システムの業務活用度をアップする。

SAP 以外の基幹システムを併用している企業は多い。それらのシステム一つ一つにデータ登録・参照のタイミングが定義されており、操作オペレーターに対して、システムを操作する時点で必要な情報を集約しておくことを求める。

OnBase では、SAP と関連づけられている業務情報（紙帳票等）を、併用されている各種基幹システムの画面から直接参照できる。この時参照される業務情報をもとにして、SAP へのデータ入力が可能

となるため、事前準備作業時間を大幅に改善する事が出来る。

6 むすび

本システムは SAP と連携した証憑電子化システムであり、企業の根幹を支える各種事務作業の効率化と業務プロセス統制を実現するものである。

営業事務作業の効率化を適用例として説明したが、多様な活用が行える。

最後に本稿執筆にあたり、SAP 関連項の監修をいただいた SAP ジャパン株式会社様と OnBase 関連項の監修をいただいた Hyland Software Inc 社様に深く感謝するとともに、心から御礼申し上げたい。

参考文献

参1) 山香, 榎本: 作らないシステムづくりー OnBase, *PFU Tech, Rev.*,16, 2,pp.30-39 (2005).